

社会医療法人 仁厚会 医療福祉センター 倉吉病院治験審査委員会の記録(概要)

開催日時	2009年9月7日(月) 14:00~14:55	開催場所	倉吉病院 3階 会議室
出席委員名	周防 孝、笠見 美奈子、遠藤 信典、山本 秋子、山崎 一彰、岡崎 絵美、戸田 通昭		
議 題		主な議論の概要	審査結果
継続審査	大塚製薬株式会社の依頼によるアリピプラゾールの双極性障害の躁状態に対する多施設共同プラセボ対照無作為化二重盲検並行群間比較の第Ⅲ相試験	新たに得られた安全性情報及び治験実施計画書 日本用 追補の変更の内容に基づき、引き続き治験をすることの妥当性について審議した。	承認する
継続審査	大塚製薬株式会社の依頼によるアリピプラゾールの双極性障害の躁状態に対するプラセボ対照二重盲検継続投与における安全性及び有効性を検討する多施設共同の第Ⅲ相試験	新たに得られた安全性情報及び治験実施計画書 日本用 追補の変更の内容に基づき、引き続き治験をすることの妥当性について審議した。	承認する
継続審査	大塚製薬株式会社の依頼によるアリピプラゾールの双極性障害の躁状態に対する気分安定薬併用下の継続投与における安全性及び有効性を検討する多施設共同の第Ⅲ相試験	新たに得られた安全性情報及び治験実施計画書 日本用 追補の変更の内容に基づき、引き続き治験をすることの妥当性について審議した。	承認する
継続審査	大塚製薬株式会社の依頼によるアリピプラゾールの双極性障害の躁状態に対する気分安定薬併用下の長期投与における安全性及び有効性を検討する多施設共同の第Ⅲ相試験	新たに得られた安全性情報及び治験実施計画書 日本用 追補の変更の内容に基づき、引き続き治験をすることの妥当性について審議した。	承認する
継続審査	大塚製薬株式会社の依頼によるアリピプラゾール補助療法の大うつ病性障害に対するプラセボ対照二重盲検並行群間比較の第Ⅲ相試験	新たに得られた安全性情報及び治験実施計画書の変更の内容に基づき、引き続き治験をすることの妥当性について審議した。	承認する
継続審査	大塚製薬株式会社の依頼によるアリピプラゾール補助療法の大うつ病性障害に対する長期投与の第Ⅲ相試験	新たに得られた安全性情報及び治験実施計画書の変更の内容に基づき、引き続き治験をすることの妥当性について審議した。	承認する
継続審査	グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼による BW430C の双極 I 型障害に対する臨床評価－気分エピソードの再発・再燃抑制を指標としたプラセボ対照二重盲検比較試験－	新たに得られた安全性情報の内容に基づき、引き続き治験をすることの妥当性について審議した。	承認する
継続審査	グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼による BW430C の双極 I 型障害に対する臨床評価－長期投与試験－	新たに得られた安全性情報の内容に基づき、引き続き治験をすることの妥当性について審議した。	承認する

継続審査	グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼によるパロキセチン塩酸塩水和物徐放性製剤の犬うつ病性障害を対象とした第Ⅲ相試験	新たに得られた安全性情報及び同意説明文書の変更の内容に基づき、引き続き治験をすることの妥当性について審議した。	承認する
継続審査	ヤンセン ファーマ株式会社の依頼によるJNS010の臨床薬理試験（第Ⅰ/Ⅱ相試験）	新たに得られた安全性情報及び治験実施計画書の変更の内容に基づき、引き続き治験をすることの妥当性について審議した。	承認する